

専門家登録情報 No. 39

氏名	萬野 三男
所在地	東京都
専門分野	その他（職業訓練、海外技術協力）
所有する資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練大学校 板金科（塑性加工科）1975年3月卒業</li> <li>・職業訓練指導員免許（板金）1975年に取得</li> <li>・職業訓練指導員免許（溶接）1975年に取得</li> <li>・職業訓練指導員免許（製缶）1975年に取得</li> <li>・一級板金技能士 1978年に取得</li> <li>・ものづくりマイスター（工場板金）2015年に取得</li> <li>・アクメスクール金型設計士 （通信教育2年間：本校 USA、分校日刊工業新聞社）1982年10月取得</li> <li>・危険物取扱者、ガス溶接作業主任者、X線作業主任者（10月） 1976年に取得</li> </ul>
経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年4月～2014年3月 職業能力開発総合大学校 学生部国際協力課統括マネージャー</li> <li>・2009年4月～2012年3月 職業能力開発総合大学校 国際協力部 相談役</li> <li>・2004年4月～2009年3月 職業能力開発大学校 国際協力部調査役</li> <li>・2003年4月～2004年3月 雇用・能力開発機構本部 産業情報ネットワーク企画室指導役</li> <li>・2000年4月～2004年3月 雇用・能力開発機構本部 産業情報ネットワーク企画室指導役</li> <li>・1998年4月～2000年3月 雇用・能力開発機構本部 人事部研修担当調査役補佐</li> <li>・1996年4月～1998年3月 青森職業能力開発短期大学校 学務課課長</li> <li>・1992年4月～1996年3月 千葉職業能力開発短期大学校 生産機械科指導員</li> <li>・1984年6月～1989年5月 インドネシア人造りプロジェクト(CEVEST) JICA 長期派遣専門家（板金・配管科）</li> <li>・1980年4月～1984年5月 宮城職業能力開発短期大学校 金属成形科指導員</li> <li>・1975年4月～1980年3月 築館総合高等職業訓練校 板金科指導員</li> </ul>
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能五輪競技大会の曲げ板金職種の競技委員（1989年～1996年）</li> <li>○海外技術協力に関する業務</li> <li>・JICA 長期派遣専門家（1984年6月～1989年5月：インドネシア）</li> <li>・外国人技能実習制度に係る業務（2000年4月～2003年3月：国際研修</li> </ul>

協力機構 JITCO)

- ・外国人職業訓練指導員等の受入れ (2004年4月～2014年3月: 職業能力開発総合大学校)
- ・国費外国人留学生の受入れ (2004年4月～2014年3月: 職業能力開発総合大学校)

○インドネシア人造りプロジェクト (CEVEST) (1984年6月～1989年5月)

JICA 長期派遣専門家 (板金・配管科)

(1) プロジェクトの背景と全体業務概要

1981年1月、当時の鈴木総理が ASEAN5 各国を歴訪した際、ASEAN 人造り構想を提唱したところ、各国の賛同を得た。このことを受けて、ASEAN 各国との準備会議が行われ、協力内容が具体化した。その結果、我が国が無償資金協力及び技術協力を組み合わせた総合的協力を行うことになった。インドネシア政府は、第3次および第4次国家開発5か年計画において、国民の職業能力の向上を図るため職業訓練施設の拡充を行うこと、ならびに小規模工業の開発および小規模企業の育成を行うことを重要施策の一つにあげ、「職業訓練指導員・小規模工業普及員養成センター」: The Center for Vocational and Extention Service Training (CEVEST)において、職業訓練指導員 (労働省) および小規模工業普及員 (工業省) の養成を行うことを提案した。このプロジェクトに対して、我が国は建物建設及び機械設備の供与を無償資金協力により実施し、また、国際協力事業団 (JICA) を通じて、専門家の派遣およびカウンターパートの日本研修を中心とする技術協力を実施した。職業訓練の協力分野は機械・溶接・板金配管・自動車整備・電子・電気冷凍空調・研究開発である。

(2) 担当事項

担当者は板金・配管部門を担当し、専門技術指導においては板金・配管等をカウンターパートに技術移転した。具体的には自動車板金、塗装、金属加工のノウハウ等をカウンターパートに技術移転した。カリキュラム作成指導及び機材計画 (機材の選定) 等については、訓練目標、年間訓練計画、訓練科目 (一般科目、専門科目)、実習 (基本実技、応用実技)、機材計画等の作成方法の移転を行った。

○機械技術 (月刊誌: 日刊工業新聞社) に「金型加工技術」を共同執筆

【特集】これだけは知っておきたい 「金型加工の基礎技術」

(1990年: 特別増大号)

【特集】これだけは知っておきたい 「金型加工技術 (中級編)」

(1991年: 特別増大号)

【特集】これだけは知っておきたい 「金型加工技術 (応用編)」

(1992年：特別増大号)

○海外派遣専門家養成訓練用訓練教材開発プロジェクト委員

(1989年10月～1991年3月)

(1) プロジェクトの背景と全体業務概要

海外派遣専門家が行う技術援助に際して、「指導技術」の指導に困難が多い、「指導技術」に係る訓練教材が少ない、諸外国の「指導技術」援助は必ずしも途上国のニーズには合っていない、教育関係学問のせいかが生産技術教育方法の実践に活かされていない、従来の教え方では現在の生産技術教育の方法として不十分な点が多い等の問題状況の中から海外派遣専門家養成訓練用訓練教材 PROTS 開発プロジェクトが立ち上がった。これは1989年から4年の歳月をあけて完成させた指導員訓練システムである。

(2) 担当事項

海外派遣専門家養成訓練用訓練教材 PROTS の開発を行う。

具体的には海外職業訓練プロジェクトの訓練プログラム：カリキュラム、機材計画、施設設備、派遣専門家の要件等を担当する。

○生涯職業能力開発体系作成プロジェクト委員

(2003年4月～2004年3月)

(1) プロジェクトの背景と全体業務概要

企業の経営環境が大きく変化する中であって、企業が競争力を強化し、成長するためには、企業の経営理念・方針に沿った人材の育成と企業の成長は密接な相関関係があり、人材育成に熱心な企業ほど経営基盤がしっかりしていて不況にも強いといわれている。そのため、雇用・能力開発機構産業情報ネットワーク企画室では、生涯職業能力開発体系（仕事の体系・研修の体系）の整備に取り組み、産業分野や業種別に、具体的かつ詳細に、変化する職務内容を分析し、職業能力体系（仕事の体系・研修の体系）の整備に取り組み、産業分野や業種別に、具体的かつ詳細に、変化する職務内容を分析し、職業能力体系（仕事の体系）・職業能力開発体系（研修の体系）のモデルデータ化を進めてきている。その中に金型製造業（金属プレス用金型製造業とプラスチック金型製造業）と金属プレス加工業における仕事の体系（職業能力体系）がある。

(2) 担当事項

- ・日本金型工業会の協力を得て金属プレス用金型製造業とプラスチック金型製造業における職業能力体系（仕事の体系）・職業能力開発体系（研修の体系）をモデル化した。
- ・金属プレス工業会の協力を得て金属プレス加工業における職業能力体系（仕事の体系）・職業能力開発体系（研修の体系）をモデル化した。

